

第60回記念 近畿総合バスケットボール選手権大会

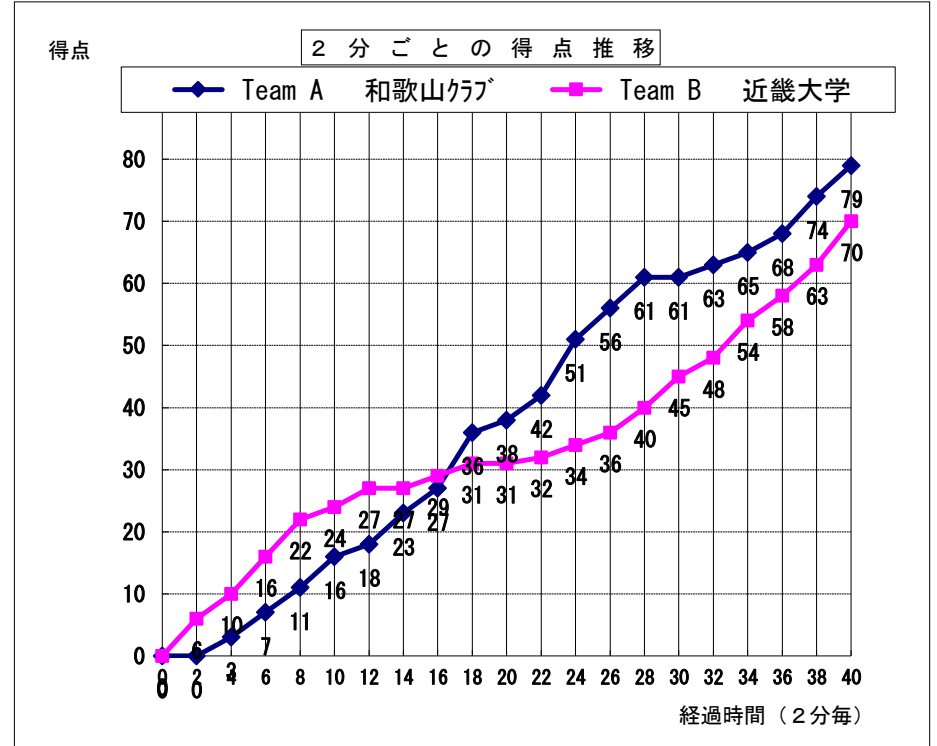
男子 準決勝

試合日	2013年10月27日
開始時間	11:10
会場	大阪市中央体育館
コート	Bコート
試合順	2 試合目

Team A		Team B
和歌山クラブ	79	70
和歌山1位		近畿大学 大阪3位

No.	S	選手名	PTS	3P		2P		FT		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	PT
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
4	◎	知念 恭平	15	1	1	4	10	4	4	1	1	2	3	1	8	1	0	40:00
5	◎	劉 瑾	17	0	0	6	12	5	6	2	0	9	9	1	1	5	1	40:00
6	◎	宮村 悠	4	0	0	1	7	2	2	4	0	4	4	1	1	3	1	29:02
7		中岡 佑太	2	0	0	0	2	2	2	2	4	1	5	1	1	0	0	10:58
8		平 晃知	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
9	◎	柳本 博紀	6	0	1	3	6	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	11:49
10		三井 峻輔	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11		宮崎 潤	19	3	8	2	2	6	7	2	1	0	1	2	0	0	0	31:43
12		高木 智也	4	0	1	2	3	0	0	0	1	1	2	1	0	0	0	3:45
13	◎	井上 卓哉	12	2	4	3	5	0	0	3	0	2	2	2	1	1	0	32:43
14		大黒 友暉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15		峯尾 守	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
Team / Coach:			0							0	0	4	4	3				
合計			79	6	15	21	47	19	21	14	9	23	32	12	12	10	2	200:00
RATE				40.0%		44.7%		90.5%										

Team B 近畿大学		No.	S	選手名	PTS	3P		2P		FT		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	PT
						成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
10	◎	甲斐 侑	4	0	3	2	3	0	0	1	0	1	1	1	1	1	0	0	22:41	
6		保花 広樹	11	3	8	1	2	0	0	0	0	1	1	3	0	3	0	0	21:31	
7		野呂 俊大	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5:48	
9		渡邊 太	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5:48	
11		室垣 佑真	4	0	1	2	2	0	0	3	1	3	4	1	1	0	0	0	11:08	
15		谷内 陽	2	0	0	0	2	2	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	6:11	
16	◎	橋本 尚明	6	0	0	3	6	0	0	2	0	0	0	4	0	0	0	0	17:06	
20		大田 泰平	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP	
22	◎	シェリフ ソウ	14	0	0	6	8	2	3	0	1	6	7	1	5	1	2	0	28:31	
24		戸梶 智康	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	2	0	0	0	0	6:11	
25		大木 健司	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	10:03	
26	◎	松本 祥平	10	0	0	3	3	4	8	1	3	4	7	1	1	0	0	0	30:00	
30		壁谷 亮彦	2	0	0	0	4	2	2	0	2	1	3	1	0	0	0	0	8:06	
33	◎	藤田 俊祐	17	0	1	8	12	1	2	3	1	3	4	1	1	0	0	0	29:14	
38		新垣 康太郎	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2:07	
Team / Coach:			0							1	1	6	7	0						
合計			70	3	14	25	47	11	17	17	10	26	36	15	9	5	2	0	200:00	
RATE				21.4%		53.2%		64.7%												



CTO	1・2P	3・4P	OT 1	OT 2	OT 3	OT 4
TeamA	6:08	28:32				
TeamB	13:50	24:15				

タイムアウトは経過時間で表示しています

戦評

開始両チーム共にハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。近大は#22の高さを活かした攻撃を展開し、上々のスタートを切る。対する和歌山クラブは少し硬さが見られ、なかなかシュートが決まらない。その後#4を中心に攻撃を展開するが思うように得点できない。近大は速攻やインサイドスクリーンを巧みに使い相手を翻弄し、得点を重ね、第1Qは16-24で近大リードで終了。第2Q開始、近大の控えのメンバーに硬さが見られ、思うようにシュートが決まらない。逆に和歌山クラブは速攻やハーフコートオフENSEが機能し、リズムを掴み第1Qとは逆の展開となり、38-31で和歌山クラブがリードして前半終了。

後半開始、近大は#33、#16を中心に攻めるが思うようにシュートが決まらない。対する和歌山クラブは#4の巧みなドライブや#5の高さを活かしたターンシュートなどで攻撃を展開しリードを広げていく。近大は#22、#11を投入し2-1-2のゾーンプレスやゾーンディフェンスで立て直しをはかるが、#9、#13が確実にシュートを決め、和歌山クラブが61-45でリードして第3Q終了。第4Qは近大はゾーンディフェンスを展開し、シュートミスが誘いがオフENSEリバウンドをとられセカンドシュートを許してしまう。しかし徐々に疲れが見え始める和歌山クラブに対してプレッシャーをかけ続け、ターンオーバーを誘発させる。ここで和歌山クラブはまずタイムアウト。その後、近大の高さ、和歌山クラブ#4の1on1を中心に攻撃を展開し、両者の持ち味が存分に発揮される一進一退の攻防が続く。しかし最後まで集中力を切らさなかった和歌山クラブが79-70で接戦をものにし、決勝へと駒を進めた。

戦評		山内 隆博			
主審	茅野 修司	副審	生島 匡	副審	小畑 治